



黒石のお米

農業

基幹作物である米とりんごに加え、高冷地野菜、ビニールハウス等の施設園芸を行っています。

寿司専米「ムツニシキ」や「牡丹そば」、「黄美香メロン」、「シャインマスカット」などのブランドの確立、施設野菜と施設園芸の拡大、若手農業者や女性農業者の育成確保、農福連携の推進、さらに6次産業化・農商工連携を推進し地元の農産物を利用した加工品の開発・販売等の「食ビジネス」創出による新たな産業づくり等、特色のある地域農業に取り組んでいます。

また、青森県の農業技術の中核を担い、農林総合研究所と全国唯一のりんご研究所が配置されている地方独立行政法人青森県産業技術センターとの「連携・協力に関する協定」を締結したことにより、農業の振興と地域の活性化が期待されます。

商業・工業

中心市街地の活性化を図るため、新たな拠点の整備や遊休資産を活用し、新規出店を支援している他、賑わい創出を促すイベントへの支援など、商業の活性化に取り組んでいます。

歴史と伝統に育まれた地酒や黒石ならではの銘菓、伝統工芸品など多くの特産品がある中で、新商品開発や物産展等への出店を支援するなど、地場製品の販路拡大を推進しています。

また、青森空港や東北自動車道へのアクセスに便利な立地環境を生かし、物流の効率化と拠点化を図るため、黒石インターチェンジ付近への企業立地を推進しています。

急速に進む人口減少社会における若者の地元定着と労働力の確保に向けて、学生やU・I・Jターン希望者の地元就職を支援する企業ガイドによる情報発信や企業見学会などを行う他、女性やシニア世代も活躍しやすい環境づくりに取り組んでいます。



物流拠点化を目指す黒石 IC ロジスティクスクロッシング



除雪作業

都市基盤

都市基盤は、安全・景観・環境に配慮した整備を進め、効率的な維持管理を行っています。

主要事業として、橋梁の長寿命化修繕計画に基づく維持修繕やこみせ通りの電線類の地中化、幹線道路である黒石環状線の整備に着手しています。また、積雪による社会活動等に及ぼす影響を抑制するため、融雪溝の整備推進やきめ細やかな除雪作業に取り組んでいるとともに、普及率92.5%の上水道は老朽管更新、普及率56.4%の下水道は整備拡大により、生活環境の改善や自然環境の保全に努めています。

その他、平成27年には観光・コミュニティ・地域防災の拠点として、松の湯交流館を開業するとともに、「景観計画」を策定し、黒石らしい良好な景観を保全・形成することにより、地域の魅力を総合的に高め、活力と賑わいあるまちづくりを推進しています。



健康都市宣言市民のつどい



乳幼児健診

保健

健康長寿市を目指し、母子保健や成人保健全般に係る施策を実施しています。

妊婦健診や乳幼児健診の充実、予防接種の促進、安心して妊娠・出産・育児をすることができるための支援強化等に努めており、さらに生活習慣病予防のため家庭における食育や小学校での食育の授業を実施し、適切な食習慣の推進を図っています。

また、疾病の早期発見・早期治療のために健康診査や保健指導、健康教育、運動教室等を通し生活習慣の正しい知識の普及を図ることで、生活習慣病の発症および重症化予防に努め、生涯にわたり健康意識の向上を推進しています。

福祉

市民誰もが安心・安全に暮らせるように、市民の福祉サービスに対するニーズの多様化や質的向上を踏まえながら、福祉サービスの充実を図っています。

少子高齢化が急激に進む中、保育サービス・放課後児童対策・各種手当給付の充実を図り、安心して子供を産み・育てられる環境の整備に努めるとともに、児童虐待やDVの撲滅に取り組んでいます。

また、高齢者や障がいのある方が住み慣れた地域で、健康で生きがいのある生活を送れるように各種事業を実施し、福祉・医療など様々な面から総合的に支える地域ケアの充実を図っています。

さらに、昨今の経済・雇用情勢の悪化を背景とした失業等による生活困窮者に対して、経済的自立や社会生活自立を支援するプランを作成し、安定した生活を送れるように柔軟な支援策を推進しています。



児童館



浅瀬石川クリーン運動

環境衛生

循環型社会の構築を目指し、分別によるごみの減量化やリサイクル率向上に取り組み、環境負荷が少ないまちづくりを推進しています。資源ごみを各町内ステーションで収集している他、24時間、365日利用できる資源物収集ステーションを市役所や地区公民館などに設置し、資源ごみ排出の利便性向上を図っています。

環境省が主催する「プラスチック・スマート」に賛同し、「二酸化炭素排出抑制」や「石油資源の節約」が期待できるサトウキビの廃糖蜜を利用した植物由来ポリエチレン原料配合のごみ袋を市指定ごみ袋として使用するなど「低炭素社会構築の啓蒙」に取り組んでいます。

また、地域の環境美化のため、春、秋の年2回、市民に参加を呼びかけて清掃活動を実施しています。

教育

知・得・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒を育成するために、個を生かし生きる力と夢をはぐくむ学校教育を推進しています。

各学校では、急速な情報化や技術革新が進む現代社会と向き合い、児童生徒に応じたきめ細やかな指導や支援に努め、新しい時代を切り拓いていく人づくりを目指して教育活動に取り組んでいます。

今後とも生きる力の基盤となる「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和を重視し、「知識および技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の育成を目指します。



小学校の授業

文化・文化財

古くから文化のまちとして栄え、多くの著名な文化人を輩出しています。

毎年、盛況に開催される「市民文化祭」は、市民が主体となって創り上げる「文化のまち・くろいし」を象徴しています。

また、黒石陣屋を中心に栄えた本市には、重要伝統的建造物群保存地区に選定された「中町」や国の重要文化財「高橋家住宅」など、貴重な文化財が多数存在しています。

「大石武学流」という、津軽地方独自の様式で作庭された「金平成園（澤成園）」は、優れた史料価値を持つことから名勝に指定されており、本市を代表する文化財の一つとなっています。4月中旬～11月末まで一般公開しており、中町伝統的建造物群保存地区や「高橋家住宅」などとともに守り継がれています。



名勝 金平成園(澤成園)

スポーツ

(公財)黒石市体育協会と連携し、スポーツ施設の環境整備の充実を図っているほか、市民一人ひとりがライフスタイルに応じ、気軽に参加できる各種スポーツの普及に努め、「1市民1スポーツ」の実現を目指しています。

スポカルイン黒石では、フィットネス指導の資格を有する職員による適切な指導や、アリーナ2階を健康ウォークの場として無料開放し、市民が余暇を活用して心地よい汗を流しながら健康維持・増進に励んでいます。

また、(公財)黒石市体育協会には、現在24のスポーツ団体が加入しており、誰でも気軽にスポーツの体験ができるような受入体制をとっています。



黒石市民運動会